

令和4年 第3学年 美術科 年間指導計画(年間 35 時間)

目 標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ・感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時 間	【領域】 単元名	単元のねらい 【教材】	評価規準 (評価方法)
4	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見通しをもつ。	
5	2	【鑑賞／彫刻】 仏像彫刻 ～刻まれた祈り～ ※教科書2・3年下 P.30～31 「仏像に宿る心」	仏像彫刻を題材に鑑賞し、その表情や動きから感じたことや考えたことを話し合いながら、作品に対する理解や感じ方を深め、作品の良さや美しさを味わう。 【教材】 釈迦如来三尊像、阿修羅像など	① 仏像彫刻の特徴を理解している。(定期テスト) ② 仏像彫刻の形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(鑑賞レポート) ③ 仏像彫刻の鑑賞に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。(授業の様子、提出状況)
6	8	【表現／絵画】 立体的なイラスト ～透視図法と立体的な色彩～	課題文をテーマとして、透視図法を用いて、立体的なイラストを表現する。 【教材】 ポスターカラー、A4ケント紙	① 透視図法や色彩による立体表現を理解し、用具の扱いや描き方を工夫し、美しく作品を表現している。(作品・定期テスト) ② 透視図法や立体的な色彩の効果を生かして作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 立体的な表現に関心をもち、意欲的に表現しようとしている。(授業の様子)
◆	1	1学期期末考査		
7	2	【表現／デザイン】 明るい選挙ポスター ～視覚で伝えるデザイン～ ※教科書2・3年上 P.40～41 「その一枚が人を動かす」 ※夏休みの宿題で仕上げる ☆公共性	ポスターの表現活動をととして、作品の目的や他者に伝えたいことを基に作品の構想を練り、材料や用具の扱いを工夫して表現する。 【材料】 4つ切ケント紙、ポスターカラー	① 他者に情報を伝えるための色彩や形の効果に関する知識を身に付け、文字の描き方や絵具の塗り方を工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 目的や見る人の気持ちを基に、色彩や形の効果を考え、作品の構想を練っている。(ワークシート・定期考査) ③ 目的や伝えたいことを基に表現する活動に関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
9	9	【表現／工芸】 粘土の和菓子 ～季節を表す装飾～ ※教科書2・3年上 P.34～35 「季節を楽しむ心」 ★文化	日本の伝統的な和菓子について理解するとともに、「春夏秋冬」をテーマに主題を生み出し、季節や風土をテーマに形や色彩の効果を生かして表現の構想を練り、粘土やヘラなどの扱いを工夫して作品を表現する。 【教材】 樹脂粘土、ポスターカラー	① 粘土や和の表現について理解し、表現の構想を基に、表現方法を工夫して和菓子を表現できている。(作品・定期考査) ② 「春夏秋冬」をテーマに主題を生み出し、形や色彩の効果を考えて和菓子の構想を練っている。(ワークシート・定期考査) ③ 和菓子に込められた主題に関心をもち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。(授業の様子、提出状況)
◆	1	2学期期末考査		
12	2	【鑑賞／デザイン】 東京オリンピックポスター 亀倉雄策 ★精神	東京オリンピックのポスターを題材に鑑賞し、その表現の特徴から感じたことや考えたことを話し合いながら、ポスターに対する理解や感じ方を深め、その良さや美しさを味わう。 【教材】 亀倉雄策「東京オリンピックポスター」	① 亀倉雄策の作品の特徴や表現の効果について理解している。(定期考査) ② 形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(ワークシート) ③ 亀倉雄策のポスターの鑑賞に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。(授業の様子、提出状況)

1	2	【鑑賞／絵画】 ピカソの自画像 ～作品に込められた思い～ ※教科書 2・3 年上 P.26～29	自画像を題材に鑑賞し、その色彩や表情から感じたことや考えたことを話し合いながら、作品に対する理解や感じ方を深め、作品の良さや美しさを味わう。 【教材】 ピカソ、ゴッホなどの自画像	① ピカソの自画像などの作品の特徴について理解している。(定期考査) ② 形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(鑑賞レポート) ③ ピカソなど芸術家の自画像の鑑賞に関心を持ち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
		【表現／絵画】 自画像デッサン ～今を生きる私へ～ ※教科書 2・3 年下 P.8～11 ◇A(5)心理の探求、創造	「今を生きる私」をテーマに、自分自身と見つめ、主題を生み出し、主題を基に形や色彩の効果を生かして表現の構想を練り、木炭や練消しゴムの扱いを工夫して表現する。 【教材】 木炭紙、木炭、練りゴム等	① 木炭や練消しゴムなどの描画用具や表現技法の基礎的知識を身に付け、それらの生かし方を考え、工夫して表現できている。(作品・定期考査) ② 自分自身を見つめ感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、表現の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 自分自身を見つめ、感じたことを基に主題を生み出し、意欲的に表現しようとしている。(授業の様子、提出状況)
2	1	3学期期末考査		
	1	3年間の振り返り ～中学校美術からの巣立ち～ ※教科書 2・3 年上 P.60～61	3年間の学習を振り返り、自身が学んだことを確認するとともに、今後にどう生かしていくか考える。	

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
評価の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・制作過程、道具の使い方 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・作品 ・制作過程、アイデアスケッチ ・定期考査	・授業の様子 ・持ち物、準備 ・作品等の提出状況

学習のアドバイス

【授業】

- ① 作品や用具などの準備を素早く行おう。忘れ物には注意しよう。
- ② 活動中に私語をせず、集中して活動に取り組もう。(相談が必要な場合は、私語とみなさない。)
- ③ 作品や用具などの片付けを素早くし、その日の活動を振り返ろう。
- ④ 必要に応じて表現のための資料を家庭等で準備しよう。
- ⑤ 表現活動のペースを調整し、適切な進度を保とう。(遅ければ家庭等で進め、早ければ工夫できる点を探そう。)
- ⑥ 提出物は、期限を守って提出しよう。

【テスト勉強】

- ① 授業中に配布されたプリントをしっかりと確認しよう。
- ② 練習問題に取り組み、自分の理解度を確認しよう。分からないところはプリントで確認しよう。